

# 「学校と経営者の交流活動」について

公益社団法人 経済同友会

2014年1月17日

# 1. 交流活動 概要

## ◇活動の歴史、経緯

### ●1999年度～ 教育委員会(北城恪太郎委員長)の活動の一環として交流活動をスタート\*

「活力ある日本社会を支えていく人材の育成・教育のために企業・経営者はどのような貢献ができるか」を基本テーマとし、学校教育の現状を知ることがまず重要との考えから、経営者自らが教育現場と交流する「行動」を開始。当初は、「公立中学校」を念頭に置いて活動。

#### \*参考資料

経済同友会「学校と企業の一層の相互交流を目指して－企業経営者による教育現場への積極的な参画－」(2001年)



上記提言に基づき実践

### ●2003年度～ 独立した委員会として、「学校と企業・経営者の交流活動推進委員会」(石川史郎委員長)を立ち上げ、本格的に交流活動開始

### ●2007年度～ 学校と企業・経営者の交流活動推進委員会主催での「教育フォーラム」を毎年開催(資料2参照)

対象:中学生、中学校の教員、保護者

メインテーマ:『勉強するのは何のため?働くなってどうということ?』

プログラム:第1部 基調講演、第2部 経営者とのグループディスカッション(中学生/教員/保護者別)

※2012年度までに計7回開催

2013年度第7回教育フォーラムは167名が参加(うち、中学生は87名含む)

#### 《基調講演 講師例》

◇テーマ:「みなさんが生きる21世紀ってどんな世界? ～グローバル化の進展に伴うチャレンジとチャンスに満ちた世界～」

講師:長谷川閑史(経済同友会 代表幹事、武田薬品工業 取締役社長)(第6回:2012年度)

◇テーマ:「失敗しよう。失敗して成長の糧にしよう。」

講師:長島 徹(経済同友会 副代表幹事、環境・エネルギー委員会委員長/ 帝人株式会社 相談役)

(第8回:2014年3月15日(土)予定)

# 1. 交流活動 概要

## ◇活動の目的

交流活動の実践を通じて、さまざまな課題を抱える我が国の学校教育改革推進に寄与する

## ◇特徴

経済同友会会員である企業経営者自らが、生徒を対象とした授業や、教員、保護者を対象とした研修会・懇談会等に、講師として参加する原則として無償の活動。

## ◇交流活動の対象

- ・主に中学生、高校生(公立/私立)を対象とした出張授業
- ・教員研修会
- ・保護者への講演会等

※首都圏を中心に活動しているが、全国各地(離島含む)の依頼にも対応。

## ◇現在の体制(2013年度学校と経営者の交流活動推進委員会)

登録メンバー 101名(2013年12月末時点)

委員長 杉江和男 DIC取締役会長(2010年度～)

※地域教育推進ネットワーク東京都協議会 副会長兼任

## ◇これまでの実績(1999～2013年12月末時点)

実施件数では 1,543件

講師派遣延べ数では 3,262件

※2012年度末時点までの実績詳細は、資料3参照



## 2. 交流活動の具体的活動

### ◇生徒に対して…

職業観の育成に貢献する  
将来について考えるためのきっかけを作る

### ◇教師に対して…

社会の変化に応じた自己変革を促す  
教育とは人づくりであるということを確認する  
学校現場にエールを送る  
経営者として、学校経営改革を支援する

### ◇保護者に対して…

企業や社会の変化を伝え、子育てや教育への柔軟な発想を促す  
家庭教育の重要性、学校と家庭との連携の必要性を再確認する  
家庭での保護者のあり方について再考を促す

### ◇学校を取り巻く地域社会とともに…

地域社会での教育活動を支援する(「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」への参加等)

### ◇子どもたちに伝えたい共通メッセージ

- A) 働くことの意義・喜び
- B) 学ぶことの大切さ
- C) 人として大切なこと
- D) 自立すること

### 3. 講師の得意なテーマ

※学校から依頼の多いテーマには◎

#### (I) 交流活動の共通メッセージおよび関連するテーマ

1. 働くことの意義・喜び / 学ぶことの大切さ ◎
2. 人として大切なこと
3. 自立すること
4. 進路を考える(女性と仕事含む)
5. 夢・目標の大切さ
6. どのように生きるか
7. これからの社会で求められる力 / 社会の仕組み ◎
8. 中高生時代に身に付けるべきこと ◎

#### (II) 分野別テーマ

10. お金の流れ(経済・金融)
11. 国際理解・グローバル化(世界情勢/国際問題) ◎
12. 英語教育
13. (企業での)採用
14. リーダーシップ
15. 保護者の役割・家庭教育
16. 学校経営 ◎

## 4. 出張授業に対する教員の評価

生徒が今後の生き方を考えるうえで大変貴重な時間になった。

心に刻みつけたい言葉の数々に生徒だけでなく教員も聞き入った。

働くということは自分の個性を活かし社会に貢献すること等について、中学生にもわかりやすく熱く語ってくださり、教員とは違うアプローチに生徒も納得し、共感を持ったように感じた。

生徒の課題は教員に求められている課題でもあり、今回これが改めて明確になった。

日本経済、産業界を牽引される企業のトップの方が前向きに教育の重要性を感じ、そのために自ら行動されていることに感動した。

## 5. 受講者の感想

「将来、新しいものを創れる人はリーダーになれる」という言葉とあの時あの場で感じた気持ちを忘れないようにしたいです。  
(中学2年生・女子)

今現在の社会の仕組み、働いている人の上下関係、組織関係がよくわかりました。  
(中学2年生・女子)

何回失敗してもあきらめなかった人が最後に成功するというお話を聞き、仕事をする時に大切なことを学びました。  
(中学3年生・男子)

海外で働くことを考えていなかった私に海外で働くという選択肢を作ってくださったことで、未来が広がった気がしました。  
(中学2年生・女子)

中3の息子ともにお話を伺って、進路(将来の目標)についてたくさん話をすることができました。  
(保護者)